



はいこんちょ！

教育長のつぶやき

No.117

2023.12/21

新たな学校に向けて～3つの会より～

昨日は、午後から栄小4～6年生を対象に新たな学校への願いやどのような授業が楽しいと感じるか、新校舎にどのような事を希望するかなど懇談会を実施しました。先週は中学生との懇談でしたが、小学生らしい意見がたくさん出ると共に、ハッとさせられるような立派な発言もあり、参考になりました。

特に「楽しいと感じる授業」への発言や「小中学生が一緒に勉強することについて」という発問には、この2年間で栄小学校が積み重ねた「自由進度学習」や「自学自習」といった学習形態の有効性と共に「協働的な学び」の良さを子ども自らが感じているようで、そうした学習形態は継続してほしいとの意見が数多く出されました。中学生と小学生と一緒に学ぶことについては、まだイメージができないようなので令和7年度一緒に生活する中で少しずつ経験を積み、その良さを感じてもらいたいとも感じました。



その後先生方の研修会ということで、私から「今後の栄村の教育について」講演を30分ほどした後、ワークショップを行いました。「育てたい力とは何か」「栄小をどんな学校にしていきたいか」という2つの内容についてワールドカフェ方式で話し合いを進めましたが、昨年度から授業改善が大幅に進み、授業スタイルが今までと見違えるほど変わったことを再確認すると共に、そこで子どもたちにどんな力がついたのか、先生方の授業観は本当に変わったのかを中心に話を聞くことができました。県内でもこれだけ短期間に大きな授業改善がなされ、様々な工夫を凝らした教室レイアウトにも取り組んでいる学校はかなり少ないと思われるので、栄小の取り組みは貴重な事例だと言えます。



夜には「みんなで学校を創ろう！」第13回目が開催されました。宮本忠長建築設計事務所より新たな改修工事計画が示され、特に1階部分の「村のリビング」について感想を述べあってもらいました。10月のプロポーザルから3回程度教委と懇談を重ね改訂を繰り返しても、まだまだ村民の皆さんの願いや希望はたくさんあり、楽しい時間になると共に今後時間が足りるかという心配もしています。しかしながら、今までの話し合いの内容をかなり具現化されてきたことに参加された皆さんも喜びが大きかったことだと感じました。“学校を地域に開かれた公民館のように使いたい”こうした願いが多く出されているのが印象的でした。学校の枠を離れた意見が多く出され、少しずつ「学校はこうあらねばならない」という概念が参加された皆さんから薄らいできたことは大変うれしいことでもあります。次回は1月23日に昨夜の1Fと共に2Fの1～4年生までの学習スペースについてもワークショップで意見を出し合う予定です。ぜひ多くの皆さんのご参加を！

